

岩手県農林水産部森林整備課

「令和4年いわて林業労働災害撲滅運動」の実施結果について

本県では、令和3年の林業労働災害における死亡者数が全国で最も多い5人となるなど、極めて憂慮すべき状況であることから、岩手県と林業・木材製造業労働災害防止協会岩手県支部（林災防岩手県支部）では、国、林業関係団体等と連携し、令和4年いわて林業労働災害撲滅運動を展開し、下記のとおり安全対策の強化に取り組みました。

記

1 令和4年いわて林業労働災害撲滅運動の概要

- (1) 実施期間 令和4年4月1日～令和4年6月30日
- (2) 主 唱 者 岩手県、林災防岩手県支部
- (3) 後 援 等 (後援)岩手労働局、東北森林管理局

(協賛)岩手県森林組合連合会、岩手県木材産業協同組合、

岩手県国有林材生産協同組合連合会、岩手県森林整備協同組合、公益財団法人岩手県林業労働対策基金、ノースジャパン素材流通協同組合、一般社団法人岩手県建設業協会

2 実施結果

(1) 運動及び安全対策の周知

林業や建設業の関係団体と連携しリーフレット等を配布することにより、本運動の趣旨や活動内容の周知を図った。

(左) 運動周知のリーフレット (右) 適切なかかり木処理、重機のシートベルト着用を呼びかけるビラ

(2) 安全パトロール等の実施

広域振興局林務担当職員が、県内31か所の作業現場等をパトロールした。

(林業従事者 延べ191人が対象)



【沿岸広域振興局林務部】釜石労基署と、釜石地方森林組合の伐採現場において、管内4社で合同安全パトロールを実施した。



【沿岸広域振興局岩泉林務出張所】広葉樹の伐倒実演し、各種手順が適正に遵守されているかを点検した。

(3) 伐木技術普及研修の実施

広域振興局が県内3箇所で実施した。(花巻市 6/14、奥州市 6/22、大船渡市 6/29)



【花巻農林振興センター】林業事業者5社(11名)を対象に実技研修を実施し、チェーンソー等のメンテナンスのほか、かかり木の安全な処理方法について実習した。

(4) 安全集会等の実施

林災防岩手県支部の会員事業体に加え、非会員事業体に対しても林業関係団体が広く実施を呼びかけた結果、**県内延べ199林業事業者が152回実施し、現場における安全衛生関係法令の遵守の普及・定着を図った。(参加者延べ約1,700名)**



(洋野町 A社) チェーンソーに関する社内安全集会を実施した。狙った方向に伐倒できるような受け口の深さ、ツルの幅等を数値化した目標を設定し、伐木技術の自己評価、技術向上を行った。



(北上市 B社) 毎月の安全衛生会議で毎月の重点実施項目を決めて普及啓発を行った。分かりやすくするため作業手順書を作成し、指導内容の統一化、細分化を図った。



(滝沢市 C社) 労働安全衛生関係法令に定められている事項の目的や意図(なぜ禁止されているのか、安全に対処するためにはどのように対応すれば良いのか)を現場作業班ごとに確認した。ヒヤリハット事例集を活用し、実際に経験したヒヤリハットを互いに共有した。



(田野畑村 D社) 林業・木材製造業労働災害防止協会の安全管理士を講師として招聘し、現場の安全パトロールを実施したほか、災害事例の紹介や、労働安全衛生関係法令の遵守について研修した。

別紙 広域振興局による安全パトロール等の実施状況



盛岡広域振興局管内



県南広域振興局管内



花巻農林振興センター管内



遠野農林振興センター管内



一関農林振興センター管内



沿岸広域振興局管内



宮古農林振興センター管内



岩泉林務出張所管内



大船渡農林振興センター管内



県北広域振興局管内



二戸農林振興センター林務室管内